

	熊本大学 保健系分野（薬学）
学部・研究科名	薬学部（創薬・生命薬科学科（4年制）：35名、薬学科（6年制）：55名） 大学院薬学教育部（M：35名、D3：10名、D4：8名）
沿革・設置目的	<p>熊本藩薬園「蕃滋園」の流れを汲み、私立九州薬学専門学校、官立熊本薬学専門学校等を経て、昭和24年、薬学に関する教育・研究を行うことを目的とし、熊本大学薬学部が設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 熊本大学薬学部設置</p> <p>昭和39年（1964年） 大学院薬学研究科を設置（平成15年に大学院薬学教育部に改組）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成18年（2006年） 薬学科（6年制）、創薬・生命薬科学科（4年制）を設置</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 熊本大学の理念等に基づき、薬物治療の指導者となる資質の高い薬剤師、疾病の予防及び治療に貢献する臨床研究者を養成するとともに、創薬科学や生命薬科学分野の先端的研究者、医薬品等の開発・生産・管理の場で先導的役割を担う研究者、技術者を養成する。特に、薬学部附属の創薬研究、育薬、薬用資源に係るセンター及び医学部等の研究・教育機能を横断的に活用することにより、創薬研究者や研究マインドを持つ薬剤師の育成機能を強化する。 ○ 地域の製薬企業に対する研究開発の支援や、地域薬剤師のスキルアップのための取組等を行い、地域の薬学研究開発や医療の質の向上に貢献する。 ○ 希少疾患や治療法がない、あるいは完治が困難な疾患に対する創薬的研究や慢性腎臓病の病態解明等の創薬・育薬を始めとする研究の実績を活かし、分野横断的で独創な研究を推進し、薬学・医療の発展に貢献するとともに、次世代を担う人材育成に貢献する。